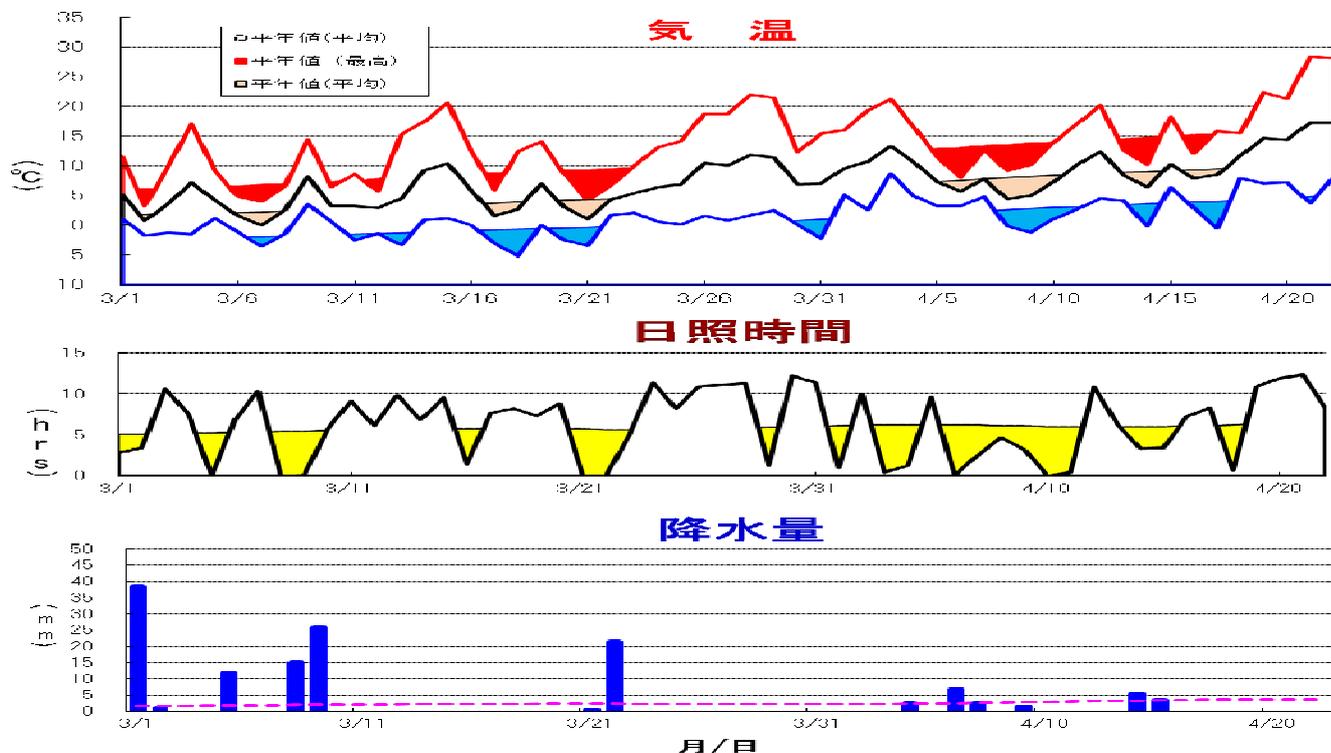


麦作情報第4号

平成30年4月20日：JA全農みやぎ

～4月中旬まで気温並、生育ステージは、やや早いか?!～

1 天候の経過 (3月～4月中旬：古川アメダス)



- ・ 気温は、3月は高温で経過し、4月上旬が並～やや高く中旬はやや低～高く経過した。
- ・ 日照時間は、4月上旬が寡照、中旬は並～多照だった。
- ・ 降水量は、3月はまとまって雨がかったが、4月は少雨であった。

月	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (h)
3月	5.4	11.8	-0.5	114.5	204.5
平年差	1.9	3.3	0.4	48.5	31.9
前年差	1.9	3.6	0.6	58.0	43.1
4月上旬	8.2	13.9	3.2	13.5	32.4
平年差	0.8	0.9	1.1	▲11.6	▲29.1
前年差	▲0.1	▲0.9	1.4	11.5	▲26.2
4月中旬	10.5	16.6	4.2	9.0	63.2
平年差	1	1	0	▲26	2
前年差	0	▲0	0	▲85	0

2 平成30年産の麦類生育状況 (4月10日 古川農業試験場調査)

【10月中旬播種】

- ・ 大麦、小麦とも草丈、茎数は、平年の7～9割程度、葉数は、概ね平年並となった。

【10月下旬播種】

- ・ 大麦、小麦とも中旬区に比較して生育量は小さく、中旬区比8～9割程度の生育量であった。

区分	本年		草丈			茎数			葉数			
	播種期	出芽期	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	
品種	(月/旬)	(月/日)	(cm)	(%)	(%)	(本/m ²)	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)	
シュンライ	10月中旬	10/18	10/28	18.0	63	75	649	91	71	9.0	-1.1	-0.2
	10月下旬	10/27	11/9	14.9	-	-	623	-	-	7.7	-	-
ミナリムギ	10月中旬	10/18	10/28	21.1	84	94	888	97	90	8.8	-1.0	-0.5
	10月下旬	10/27	11/9	16.8	-	-	688	-	-	7.1	-	-
シラネコムギ	10月中旬	10/18	10/29	19.3	59	69	730	79	84	8.5	0.5	0.6
	10月下旬	10/27	11/9	15.9	-	-	717	-	-	7.5	-	-
ゆきちから	10月中旬	10/18	10/29	18.5	88	88	725	81	81	8.7	0.2	0.2
	10月下旬	10/27	11/10	14.7	-	-	574	-	-	7.2	-	-

- ・ 幼穂長は中旬区で、大麦、小麦とも平年より短く幼穂形成始期に達した時期も平年より遅かった。
- ・ 下旬区は、大麦で約 3mm、小麦は約 2mm であった。

幼穂長			幼穂形成始期		
本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)	本年 (月/日)	前年 (月/日)	平年 (月/日)
7.9	-5.7	-1.5	3/4	1/26	2/10
2.9	-	-	3/15	-	-
4.3	-4.4	-2.1	3/14	2/1	2/19
3.0	-	-	3/16	-	-
2.2	-5.5	-4.3	3/27	3/6	3/16
1.6	-	-	3/31	-	-
2.6	-1.2	-1.2	3/27	3/17	3/21
2.0	-	-	3/30	-	-

3 平成30年産の地域の生育概況（農業改良普及センター調査：4月10日）

- ・ 各地域とも大麦小麦も草丈は、概ね平年の80%程度
- ・ 茎数は、3月の高温でかなり回復しが、大河原を除き、平年より少なく、圃場差が大きい。
- ・ 幼穂長の伸びも遅れている。

担当普及センター	品種名	草丈			茎数			幼穂長 (mm)
		本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	
大河原	シュンライ	18.6	73	84	652	79	105	7.9
	ミノムギ	28.8	99	143	777	115	146	9.1
仙台	シュンライ	20.9	112	84	432	176	88	7.0
大崎	シラネコムギ	15.8	69	85	825	58	75	1.8
美里	シラネコムギ	14.6	57	82	211	16	20	0.2
	ゆきちから	16.0	58	94	380	26	46	0.2
登米	あおぼの恋	18.6	52	-	846	67	-	2.6
石巻	シュンライ	18.6	78	88	433	116	73	5.5
	ミノムギ	15.2	54	74	172	25	27	2.6
	シラネコムギ	16.5	69	76	393	35	32	1.3

4 出穂期及び開花期の予測（古川農業試験場）

- ・ 幼穂長や気象経過から予測した出穂開花期は、下記の通りある。
- ・ 3月と4月（やや高温）予報から、シュンライで4月29日、シラネコムギで5月8日と平年並み～やや早まる見込みとなっている。
- ・ 開花期もシュンライで1日、シラネコムギで3日程度早まる見込みである。

麦類の品種別出穂期と開花期（3月30日現在）

大麦 (品種:シュンライ)	平成30年	出穂期	開花期
	平年(過去5か年)	4月29日	5月6日
小麦 (品種:シラネコムギ)	平成30年	5月8日	5月18日
	平年(過去5か年)	5月11日	5月21日

出穂期から開花期までの日数

日平均 気温(°C)	大麦			小麦		
	開花始	開花期	開花終期	開花始	開花期	開花終期
10	8	11	14	14	19	24
13	6	9	12	11	15	19
15	5	7	9	9	12	15
18	3	5	7	6	8	10

5 今後の管理

(1) 追肥

- ・ 登熟の良化や品質向上を図るため、減数分裂期追肥を幼穂長等を確認し確実に実施する
- ・ シラネコムギ、ゆきちからは減数分裂期追肥の増量により穂揃期追肥を省略できる。

〔シラネコムギ 8~9kg/10a, ゆきちから 10kg/10a〕

品 種	追肥の効果	減数分裂期 (幼穂長30mm)	穂揃期 (80~90%出穂)
シュンライ	一穂粒数の増加 登熟の良化	4月下旬	硬質麦防止の ため実施しない
ミノリムギ		4月下旬~5月上旬	
施用量		窒素1.5~2.0kg/10a	

品 種	追肥の効果	減数分裂期 (幼穂長30mm) 4月中旬~下旬	穂揃期 (80~90%出穂) 5月上旬~中旬
シラネコムギ	一穂粒数の増加 登熟の良化 タンパク含有量の増加	窒素5kg/10a	窒素2.5kg/10a
ゆきちから・夏黄金		窒素5kg/10a	窒素5kg/10a



[4/18 撮影]

(2) 「赤かび病」の予報 (病害虫防除所)

- ・病害虫防除所の発生予察情報(4月13日発表)では、大麦・小麦とも平年並みの発生と予想している。
- ・一ヶ月予報では降水量が平年並み~やや多いと予想されており、開花期前後にかけ降雨が続くと発生が多くなるので注意する。
- ・防除は、開花始期~開花期に1回目、7~10日後に2回目であるが、降雨が続く場合は追加防除を検討する。
- ・特に、小麦の「ゆきちから」は赤かび病抵抗性が「やや弱」なので、3回防除が基本である。

病害虫名	発生時期	発生量
オオムギ赤かび病	やや早い	平年並

病害虫名	発生時期	発生量
コムギ赤かび病	やや早い	平年並



[赤かび罹病穂] [小麦健全穂]

(3) 排水対策の徹底

- ・県内を巡回してみると、明渠が冬期の凍土等で崩れていたり排水路に連結されていない圃場が見受けられる。
- ・生育が進むにつれて麦類は湿害に弱くなるので、梅雨の時期に向けて明渠等の手直しや排水路に確実に連結するよう再度整備する。

